

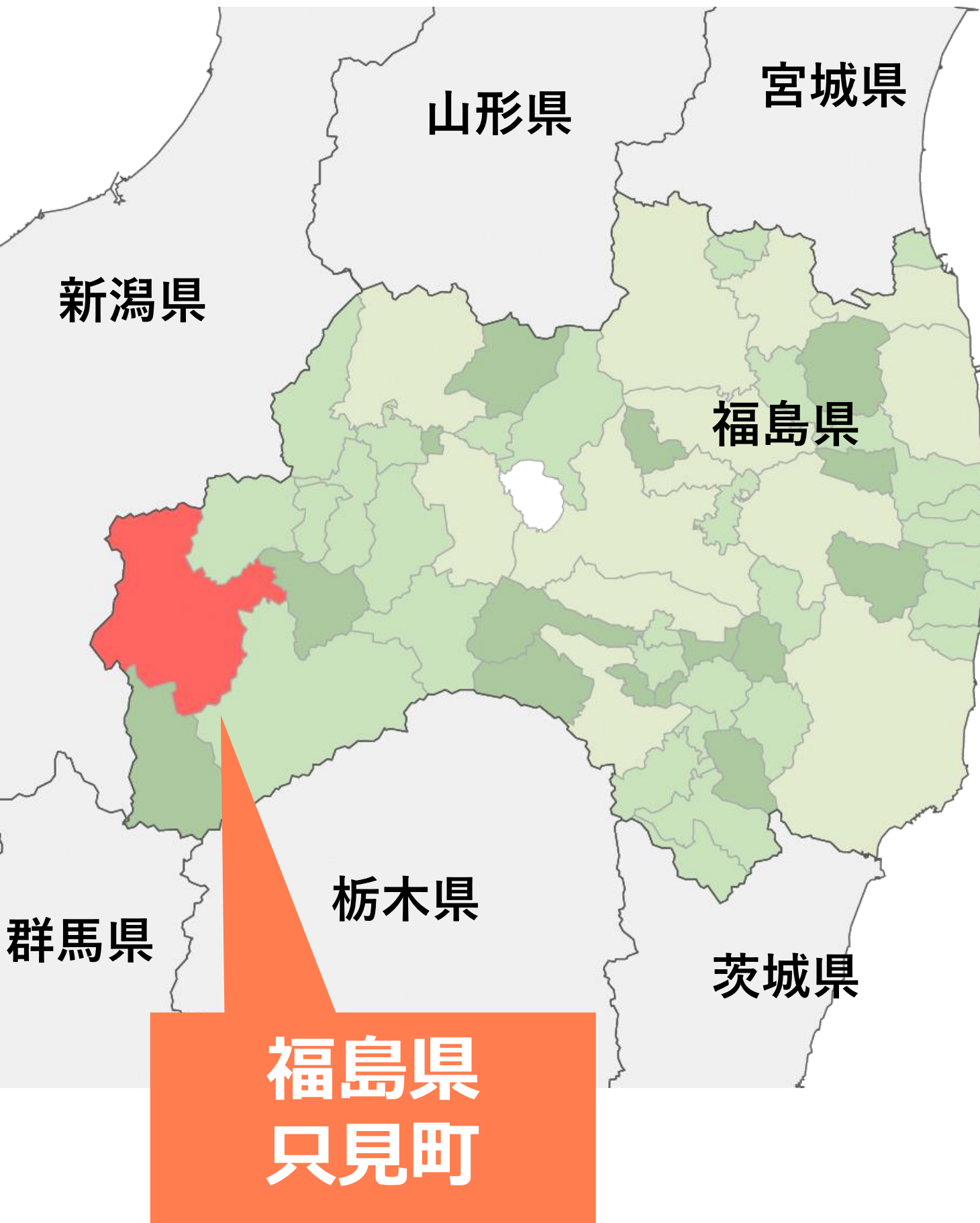


只見ユネスコエコパークの 持続可能なまちづくり事業

福島県只見町（ただみまち）



只見町 概要



- 人口 3,821人 (R4.12月)
- 世帯 1,588世帯
- 高齢化率 48.7%
- 特徴
 - ・ユネスコエコパーク登録
 - ・日本有数の水力発電地帯 (5つのダム)
 - ・JR只見線の上下分離方式採用
 - ・「南郷トマト」「米」の産地
 - ・豪雪地帯

只見町へのアクセス (自動車・電車)

○自動車

- ・東北自動車道（那須塩原IC・白河IC）より約2時間

○鉄道

- ・東部鉄道→会津田島駅より
自然首都只見号（定期ワゴン）
で約1時間
- ・上越新幹線・浦佐駅→小出駅
経由→只見線→只見駅



持続可能（サステイナブル）

自然との共生

1 【エコ】 山林資源の活用

2 【産業】 地域産業の振興

3 【教育】 SDG s (ESD)の認識を育む人財育成

1 【エコ】 山林資源の活用

<山林資源>

- 広大な広葉樹林を中心とした木材資源
- 多様性あふれる動植物や山菜資源
- 癒しの空間として人気の高い世界遺産級のブナ林
- 只見4名山で知られる登山やトレッキング
- 奥山から流れ出る豊富な水

<展開事業>

- **薪ボイラー**による化石燃料からの脱却
- 木材の加工品や自然由来の製品の開発と販売
- フォレストセラピーや**アウトドアアクティビティ**などの体験交流の拡大（株式会社モンベルと連携）
- 小水力発電等再生可能エネルギーの導入とデジタル推進による**スマートエコタウン**化

2 【産業】 地域産業の振興

<現在の産業>

- 米と南郷トマトの農業が主産業
- コロナ禍により低迷する観光業
- 事業者の高齢化、人口減による継承者人材不足
- 空き家・空き地の増加
- 販売場所の不足

<展開事業>

- **規格外農産物**の六次化と後継者の育成
- 観光スポットの魅力化とPRの拡大
- 事業継承の推進と**起業・サテライトオフィス**支援
- 空き家を活用した**移住体験・テレワーク**等施設整備
- 直売所・道の駅などの整備

3 【教育】SDG s (ESD)人材を育む教育

<只見町の教育の現状>

- 小中学校がユネスコスクールに登録されESD・SDG s の取組を推進中
- 福島県立只見高校も町を挙げて支援
- 地域学（只見学）による地域を知る人材を育成
- ローカルからグローバルを考える人材を育成

<展開事業>

- **ESD・SDG s の教育**による持続可能な意識を育成
- **地域課題解決型キャリア教育**によるコミュニケーション能力・人間力育成
- Act local, Think globallyの行動意識の醸成
- **自然との共生**を意識した教育活動
- デジタル社会における I C T 機器活用学習



めぐみの森シャワートレッキング



只見湖と田子倉ダム



ブランドトマトの「南郷トマト」
2006.10.11



田子倉湖でサップ



雪まつり花火と只見線



かた雪わたり

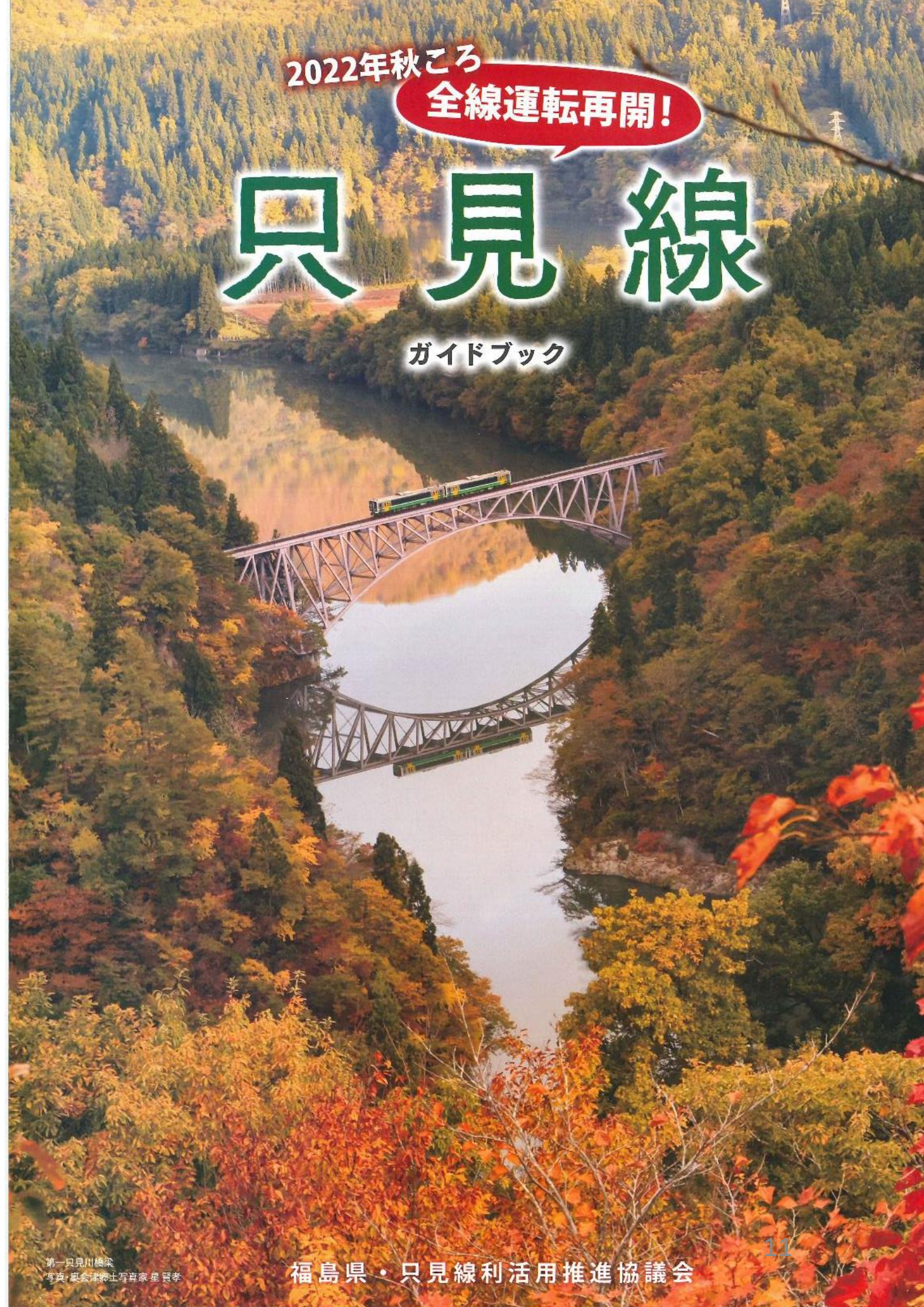
日本一の地方創生路線を目指して JR只見線の魅力化プロジェクト



福島県只見町（ただみまち）

只見線とは？

福島県会津若松市と
新潟県魚沼市を結ぶ
赤字ローカル線です
が・・・



会津若松駅（福島県会津若松市）

新潟県

※新潟・福島豪雨の影響により、只見線 会津川口～只見間は、代行バスによる運転を行っています。
最新の運転状況については、JR東日本のホームページをご覧ください。
<https://www.jreast.co.jp/>

只見駅（福島県只見町）

小出駅（新潟県魚沼市）

- ・ 「世界でもっともロマンチックな鉄道」

(中国版ツイッター「微博」 (ウェイボー))

- ・ 「紅葉の美しい鉄道路線ベストテン」 **第1位**

(NIKKEI PLUS1)

- ・ 「雪景色のきれいなローカル線ベストテン」 **第3位**

(NIKKEI PLUS1)

- ・ 「好きなJRローカル線ランキング (東日本編)」 **第1位**

(『旅と鉄道』)

★ローカル線の各種ランキングに常にランクインし、

ローカル線の王者とも呼ばれ、国内だけでなく海外 (台湾、中国、マレーシア、シンガポールなどのアジア圏) にも人気

【平成23年の大水害で被災】



全国の赤字ローカル線が廃線を迫られる中、

令和4年10月1日

奇跡の復活！

- **JRとしては初の上下分離方式！**
- **福島県・近隣自治体の英断！**
- **お荷物ではなく地域資源として！**
- **利活用を地域一丸となつて進める**

【只見線の現状と課題】

- 毎年 1, 900万円 の町負担！
- 只見線に乗車してもらえる取組の計画・実行
- 只見駅に下車してもらえる取組の計画・実行
- 只見町に集まってもらえる取組の計画・実行
- 只見町を応援してもらえる取組の計画・実行
- 日本一の「地方創生路線」をめざし生活、観光、教育、産業の連携を図る

今後の取り組み

<展開事業>

- 只見駅の複合駅舎化と乗降の利便性向上
- 新たなビュースポットの整備
- 只見駅でのおもてなし体制の整備
- 只見線と地域の魅力の発信（企業との連携）
- 只見駅からの2次交通の整備
- 只見線のファンの拡大・コミュニティづくり
- インバウンドを含めた乗客の増加プロジェクト



2022年10月1日JR只見線全線運転再開
おかえり只見線



只見町・JR只見線利用促進実行委員会





♡只見線♡只見線

2022年10月1日

♡只見線♡只見線

JR只見線全線運転再開記念



まずは只見町を知ることから。

ふるさと納税をきっかけに、

自治体との連携を只見町で始めませんか？